宮定 章（みやさだ あきら）
現：認定特定非営利活動法人 まち・コミュニケーション 代表理事
兵庫県西宮市生まれ
生年月日：1975 年 7 月 4 日
性別：男
事務所住所：〒653-0014 兵庫県神戸市長田区御蔵通 5-211-4-101
電話:078-578-1100 Fax:078-576-7961
mailto:m-comi@bj.wakwak.com
HP:http://park15.wakwak.com/~m-comi/
1975 年西宮生まれ
1999 年 3 月 大阪大学工学部建築工学科 卒業
2000 年 3 月 阪神・淡路大震災まち支援グループ まち・コミュニケーション 参加
2002 年 3 月 大阪大学大学院工学研究科建築工学専攻 建築デザイン学講座 建築都市計画領域 修了
2002 年 4 月 阪神・淡路大震災まち支援グループ まち・コミュニケーション 代表
2003 年 4 月～2004 年 6 月 都市基盤整備公団（現都市再生機構）で業務委託社員従事
～現在 まち・コミュニケーション 代表
2007 年 4 月 神戸大学大学院 自然科学研究科地域空間創生科学専攻博士課程在学
2012 年 3 月 博士（工学）学位取得 神戸大学大学院 自然科学研究科
震災直後は、受験生で大阪に疎開。
在学中にあまり勉強をしなかったせいか、本業の建築設計等に興味を持つのに乗り遅れ、勝手に「どのように建築物は創られるのか。建設前の過程の方が大事なのではないか。」等に疑問を抱き、指導教官についてまちづくりで有名な真野地区を訪れる。真野地区でまちづくりプランナーでまちづくり教教祖宮西悠司氏に、御蔵地区に連れて来られる。御蔵地区のまちづくり人に魅力を感じ、ゆっくり勉強しようと大学院を 1 年休学し、復興まちづくり活動に関わる。
　阪神・淡路大震災で、8 割が焼失する被害を受けた神戸市長田区御蔵地区の「一人でも多くの人を元のまちに戻そう」と復興まちづくりを支援するまち・コミュニケーションのメンバーに参加し、住民参加のまちづくりのコーディネート（2000 年）。

　卒業後は、御蔵住民、学生を中心とした若者、全国の支援者の皆様に支えられて、東日本大震災の被災地で復興まちづくりの支援を中心に活動している。

2003 年防災功労者内閣総理大臣賞受賞。
2012 年には、大規模災害後、従前居住者の地区内再建の難しさを、現場だけでは解決できないと分析し、神戸大学大学院自然科学研究科にて、博士論文として執筆。2012 年 2 月、

地域存続の危機感を抱いた東日本の地元の若者と神戸で出会う。

「これまでの知見が活かせないか」と、東日本大震災による津波により甚大な被害を受けた石巻市雄勝町にて、月の 20 日を滞在し、住民の地域生活を感じ、学びながら、復興事業が完了しても人口が震災前の 30%になる地区の持続的な運営をどうすればよいか模索中。